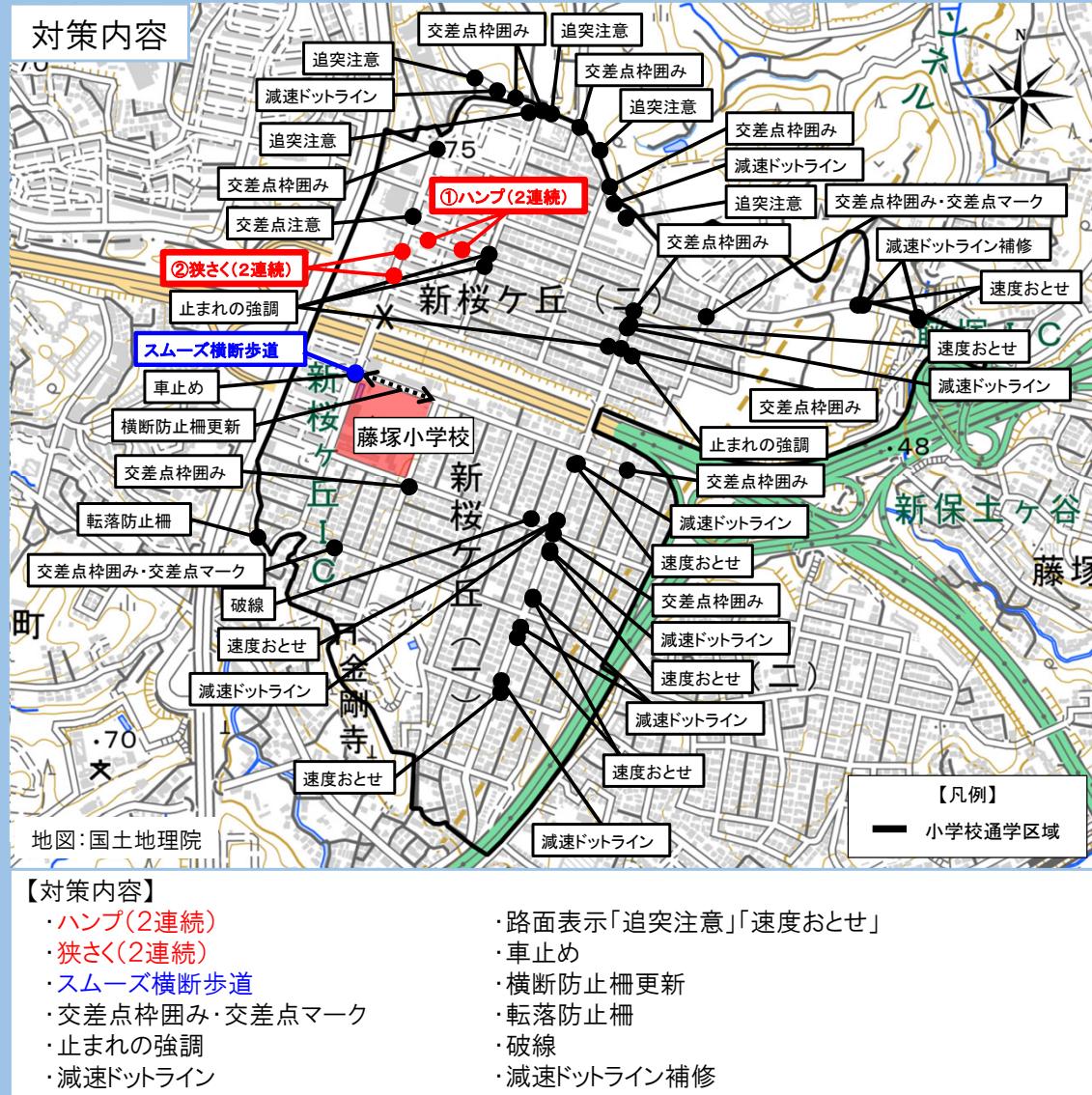
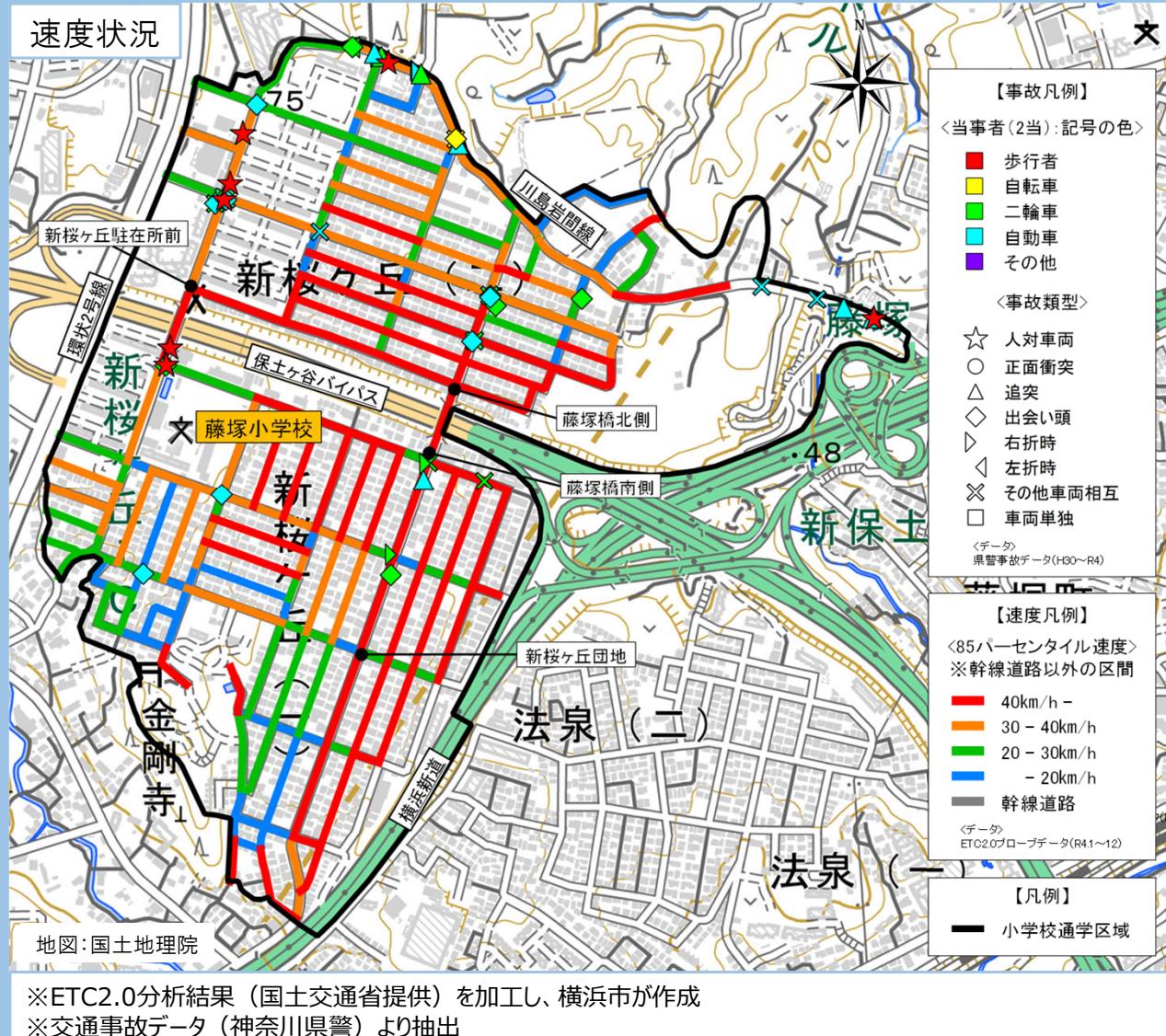


保土ヶ谷区藤塚小学校の取組

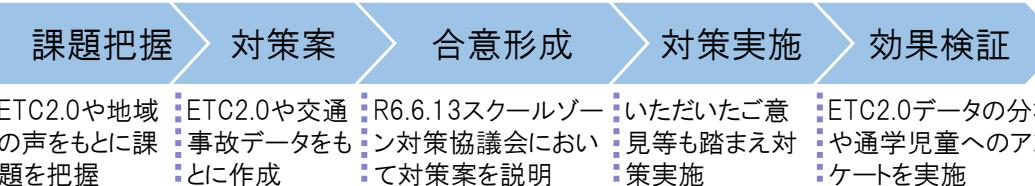
～ハード対策とソフト対策が連携した交通安全対策～

速度状況と対策内容

ETC2.0 から得られた車両速度データや交通事故データなどをもとに対策を立案し、学校や地域との協議を経て対策を実施した。スクールゾーン協議会の要望をうけ、小学校周辺で児童の通行が多い場所にスムーズ横断歩道を設け、速度が速い路線には速度抑制を目的にハンプや狭さくを設置した。また、路面表示などによる注意喚起も行い、児童の登下校時の安全性向上を図った。



交通安全対策取組フロー



スクールゾーン対策協議会からの主な要望

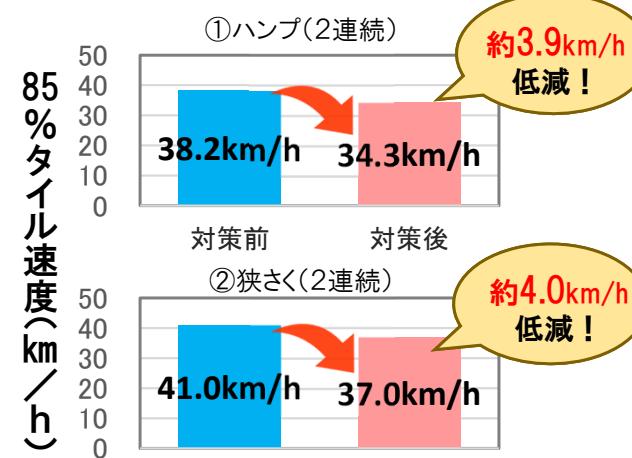
車の速度が高い路線で、注意喚起を行ってもらいたい。

交通事故が多い交差点での交通事故対策を検討してもらいたい。

スムーズ横断歩道



走行速度の分析効果比較



児童向けアンケート

Q. 工事をして、安全になったと思いますか？

■ 安全になった。
■ 今までと変わらない。

全学年
(回答数196名)

85.5%	14.5%
-------	-------

85%以上
が安全に
なったことを
実感！

段差をつくるたり、道路をせましたりして、いろいろ対策をしたおかげで安全安心に過ごすことができるようになったと思います。

藤塚小学校児童（6年生）

色々な対策をしたことで、安全になったと思います。

ソフト対策

保土ヶ谷区 藤塚小学校

【対策方針】

【児童の取組】

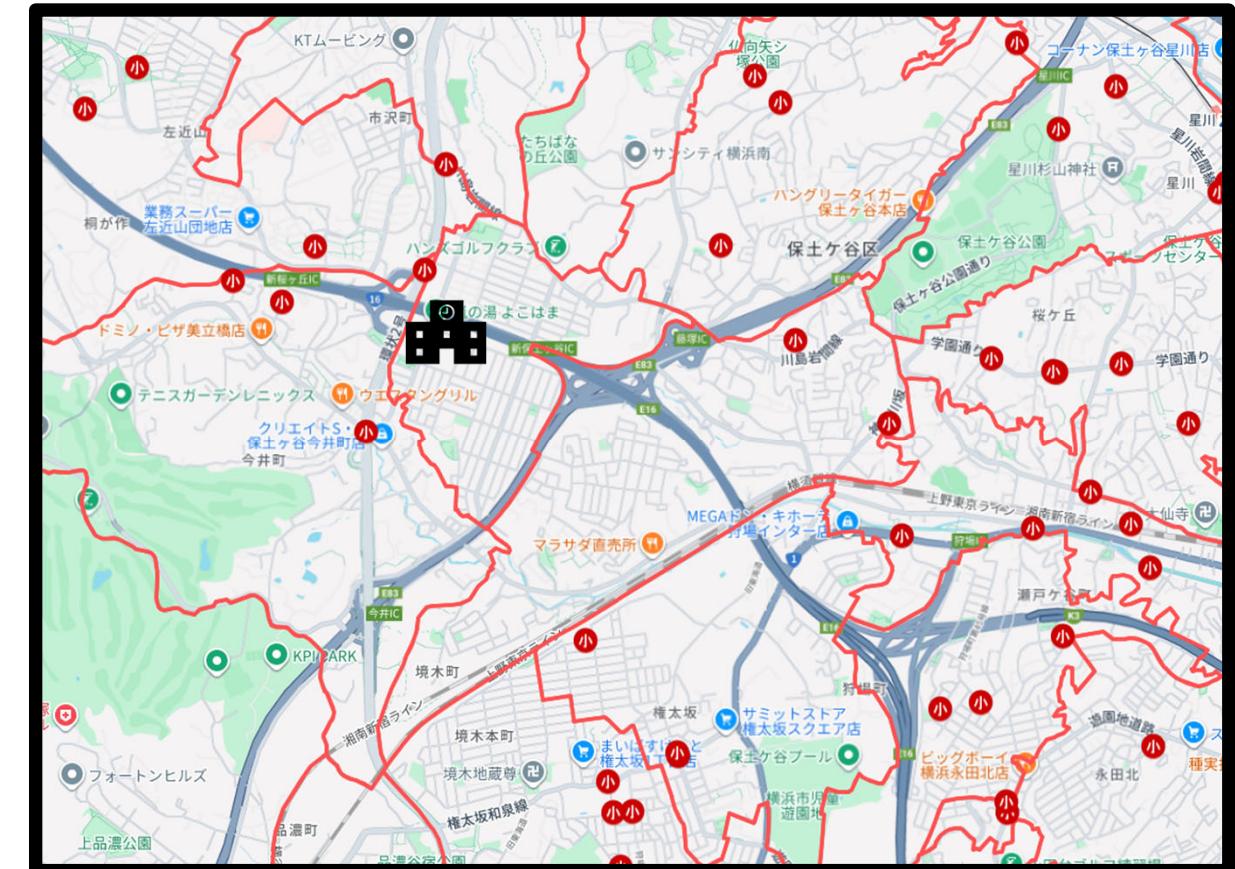
- 登校班班長、副班長と通学路を確認する集団登校を行う。
- まちたんけんや防災マップ作りを通して児童の目線から気づく、通学路の危険個所の振り返りを行う。

【保護者や地域との取組】

- 藤塚小学校安全ボランティア(朝ボラの会)の方と連携した登校の見守りを行う。
- 朝会で朝ボラの方を紹介し、児童が積極的にあいさつできるようにする。

【こども・安全安心マップ】

引用:Googleマップ



■ 対策事例

生活科授業 2年生による「まち探検」



道路の歩き方や列の並び方など理解を深め、安全に移動を行うために気をつけることを周知する授業を実施

【学校からのコメント】
子供たちが安全に気をつけて道路を歩きたいなど振り返っていた

はまっこ交通安全教室

(実施日:令和6年5月1日 参加人数:259名)



道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を乗り始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

放課後キッズクラブ交通安全教室

(実施日:(1回目)令和6年8月22日(2回目)令和7年3月27日 参加人数:102名)



下校時間の遅く1人で帰ることが多い放課後キッズクラブの児童に向けて、委託事業者による交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
こども・安全安心マップを基に、交通安全マップを作成するグループワーク

幼児交通安全訪問指導

(実施日:令和6年12月4日ほか1回実施 参加人数:計62名)



未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】
新桜ヶ丘保育園
桜ヶ丘保育園

※写真は対象園とは異なります